

日本陸水学会 第 86 回大会

兵庫大会 オンライン開催

プログラム

JSLIM86 Conference in Hyogo
Program

2022 年 9 月 16-19 日

16-19 Sep. 2022

大会概要

期日： 2022 年 9 月 16 日（金）～ 19 日（月・祝） *17 日（土）は行事なし
場所： オンライン（Online only）

オンライン大会会場

A 会場： Zoom ID: 917 6664 1264 Passcode: rikusui
<https://zoom.us/j/91766641264?pwd=d3hVbVBRUHU3Qm43eUt0Z0Jha1BDZz09>

B 会場： Zoom ID: 987 8416 2102 Passcode: rikusui
<https://zoom.us/j/98784162102?pwd=MHUrb0QxS2FoYWdidkppQmNwR0NEZz09>

C 会場： Zoom ID: 843 7096 7266 Passcode: 040923
<https://us06web.zoom.us/j/84370967266?pwd=MTM2T0RqaTNNOEIRWlFnQnAwMGdrdz09>

D（ウェビナー）会場： ID: 920 8001 9712 Passcode: watershed
<https://zoom.us/j/92080019712?pwd=bUJ5YVE1RGh0ZnpkeVBxVFdtTVl5Zz09>

総会会場： Zoom ID: 946 3227 4709 Passcode: 804163
<https://shinshu-u-ac-jp.zoom.us/j/94632274709?pwd=eVM1dE92T1dhMGZvRDZ4ZEVCNnNSdz09>

自由集会：（変更） Zoom ID: 989 0114 8407 Passcode: rikusui
<https://zoom.us/j/98901148407?pwd=enR1TjBPbDd4Sk12YWwF3RWR4b3hvQT09>

oVice(懇親会・オンライン交流会) 会場： <https://jslim86.ovice.in/> ID: jslim86

ポスター会場（LINC Biz）： LINC Biz から別途登録メールが送付されますので、そちらに従って登録してご参加ください。

大会日程

	時間	行事	会場
9月16日 (金)	10:30	開会挨拶	A 会場
	10:35～ 11:35	ポスター発表フラッシュトーク	
	13:00～ 16:00	ポスター発表コアタイム 13:00～14:30 (奇数番号のポスター) 14:30～16:00 (偶数番号のポスター)	LINC Biz 会場
	16:00～ 18:00	日本陸水学会 総会	総会会場
	18:30～ 20:00	自由集会 「オンライン大会を語ろう」	A 会場
9月18日 (日)	09:00～ 12:00	口頭発表 一般講演 課題講演「高地・寒冷地生態系の陸 水学-長期陸水生態系研究として の第4次尾瀬総合学術調査-」 オンライン交流会	A,B 会場 C 会場 oVice 会場
	12:00～ 13:30	小中高生ポスターフラッシュトーク コアタイム	A 会場 LINC Biz 会場
	13:30～ 16:45	口頭発表 一般講演 課題講演「気候変動下におけるダ ム湖とダム下流生態系の構造と機 能」	A,B 会場 C 会場

	17:00～ 18:00	学会賞授賞式・受賞講演	A 会場
	18:00～ 20:00	懇親会（oVice）（口頭・ポスター・小中高生ポスター発表賞表彰式を含む）	oVice 会場
9 月 19 日 （月・祝）	09:00～ 11 : 30	口頭発表 一般講演 課題講演「湖沼深水層生態学 （Hypolimnion ecology）の幕開け」	A,B 会場 C 会場
	13:30～ 16:30	オンライン交流会 公開講演会 「全国における流域治水に関わる水 辺再生の取り組みと展望」	oVice 会場 D(ウェビナー)会 場

授賞式・受賞講演（9 月 18 日（日））

17:00～17:15	授与式 2022 年度吉村賞、日本陸水学会論文賞 2021 年度国際交流奨励賞
17:15～17:35	2022 年度吉村賞受賞記念講演 岡崎 友輔 会員 （京都大学）
17:35～17:40	お祝いの言葉 （占部 城太郎 会長）

口頭発表セッション講演・聴講

参加者共通

・大会プログラム（P1 他）に発表会場の URL が記載されています。会場には当日のプログラム開始の約 15 分前から入室できます。

・会場に入室する際は、名前を入力欄に以下のようにご記入ください。名前を入力欄が表示されずに会場に入室できた場合は、Zoom アカウントにサインインしたままと考えられます。

演者の方：発表番号 氏名（所属）

<例> O-A01 陸水太郎（兵庫県大） もしくは O-A01 Taro Rikusui (U.Hyogo)

聴講者の方： 氏名（所属）

<例> 陸水太郎（兵庫県大） もしくは Taro Rikusui (U.Hyogo)

・退室する際は、Zoom の画面右下にある「退出」をクリックし、さらに「ミーティングから退出」をクリックします。

聴講者

注意事項

・演者が発表している間は、必ずマイクをミュート（無音）にしてください（会場に入室した状態ではデフォルトでミュートになっています）。ミュートになっていない場合は、Zoom の画面左下にある「ミュート」を押してください（ミュートになっていればマイクのイラストに赤い斜線が入る）。発表の進行に支障があると判断される場合には、実行委員会によってミュート操作を行ったり、接続を切断したりする事があります。

・ネットワークの負荷を軽減するため、演者が発表している間はビデオ（顔出し）を停止してください。ビデオの停止は、Zoom の画面左下にある「ビデオの停止」ボタンを押して下さい。

・受信映像や発表資料の保存（画面キャプチャを含む）、録画・録音、再配布を禁止します。

質疑応答の方法

1) チャットでの質疑応答

1. Zoom アプリの画面下部にある「チャット」ボタンを押してチャットを開始します。
2. チャットの送信先は「全員」として下さい。
3. チャット上の質問に関して、座長が投稿者を指名しますので、指名されたらミュートを解除して詳しく質問をしてください。

2) 口頭での質疑応答

質問がある場合には、「手を挙げる」ボタンを押して挙手して下さい。「手を挙げる」ボタンは、画面下にある、ツールバーの「リアクション」ボタン中にあります。座長から質問者として指名されたときは、ミュートを解除して、発表者に対して質問して下さい。質問が終わったら、ミュートして下さい。

講演者

注意事項

- ・できるだけ安定したネット環境から発表を行ってください。事前に、研究室の同僚などと本番の発表環境でテストを行い、問題なく発表ができるかどうか確認しておいてください（Zoom の利用に慣れていない方で不安をお持ちの方は、事前に大会実行委員会までお問合せください。）
- ・オンライン発表は著作権法上の公衆送信にあたりますので、スライドのコンテンツは、引用物の出典を明確にする等、著作権上の問題のないものに限るようご留意下さい。
- ・Zoom の録画機能は、管理者権限で使用できないように設定します。

発表の手順

- ・大会プログラムに記載の URL にアクセスし、該当するセッション開始の 10 分前までに入室して下さい（事務局スタッフが、発表者を Zoom の参加者リストの一番上に配置する作業を行います）。入室する際、名前の記入欄に発表番号 氏名(所属)を記入して下さい。

- ・ 「コンピュータオーディオに参加する」という画面が表示されたらボタンを押して下さい。マイク・スピーカーを使えるようになります。

- ・ 発表時間は演者交代を含めて 12 分です。質疑応答は 3 分です。

- ・ 待機中はミュートにして、スライドを開いた状態にしておいて下さい。

- ・ 座長の案内がありましたら、「ミュートの解除」「ビデオの開始」を選択し、発表ファイルの画面共有をして下さい。発表ファイルの共有は、Zoom 画面下の「画面を共有」を押し、スライドのウィンドウを選択して下さい。

- ・ パワーポイントの発表者ツールは使えないのでご注意ください。パワーポイントを使用される場合は、「スライドショー」タブを開き「モニター」項の中にある「発表者ツールを使用する」のチェックボックスをオフにしてください。

- ・ ディスプレイの上部に「画面を共有しています」と緑色で表示されていれば、画面共有されている状態になっています。

- ・ 実行委員が計時を行います。ビデオ画面中のタイマー表示でご確認ください。

- ・ 参加者からの質問は発表中にチャットに書き込まれます。座長が投稿者を指名し、指名された投稿者が改めて口頭で質問するので、質問にお答えください。チャットでの質問が多く、質問時間中に回答ができなかったものについては、発表終了後にチャットにてご回答をお願いします(チャットの送信先を質問者のみにする回答でも構いません)。

口頭発表について注意事項：

- ・ 通信不具合などで発表ができなかった場合は、C 会場の空き時間での発表に振り替える場合があります。

- ・ 本年度は各会場で座長を指名し、司会していただきます。前の演者が座長をすることはありません。講演が終わりましたらそのまま聴講、また退出して他の会場を聴講いただいても構いません。

ポスター発表セッション聴講・講演

大会前から 9 月 23 日（金） LINC Biz にてポスター閲覧とチャットが可能です。

・ LINC Biz へのアクセスは、LINC Biz から届く招待メールに従って、登録の手続きをしてください。事前申し込みの方で、9 月 8 日になっても招待メールが届かない場合は、大会問い合わせ（rikusui86@gmail.com）までご連絡ください。

・フラッシュトーク、懇親会の Zoom へのアクセスは、大会プログラムに掲載されています。

・ LINC Biz のサービスの詳細については、大会ウェブサイトから LINC Biz のパンフレットをダウンロードしてご参考ください

（<https://sites.google.com/view/jslim86/発表参加方法?authuser=0>）。

・ポスター発表方法の詳細については大会ウェブサイト

（<https://sites.google.com/view/jslim86/発表参加方法?authuser=0>）をご参照ください。

oVice 会場（懇親会、オンライン交流会）

<https://jslim86.ovice.in/>

ドメイン：jslim86

- ・ oVice 会場 は、大会期間中はオンライン交流会として開放しています。各発表後の議論の続き、交流にお使いください。
- ・ 懇親会中はログインしますと、スタッフが待機している場所があります。操作方法が不明な場合は、スタッフに話しかけてお尋ねください。
- ・ 懇親会行事(挨拶やスピーチ)中も参加者同士で歓談が可能な会場です。気軽にお話をしながら、ご参加いただけます。

oVice（オヴィス）利用案内

懇親会と休憩室で oVice を利用します。懇親会を十分楽しんでいただくためにも、事前に休憩室で動作確認をしていただくことをお勧めします。

oVice に関する注意点（要点）

- ・ PC からの **Google Chrome** によるご参加を強く推奨します。その他ブラウザやスマートフォン等によるご参加の場合は使用できなくなる機能があります。
- ・ 入場に oVice のアカウント（会員登録）は不要です。「名前を入力してください」に名前（所属）を入力し、「入場」をクリックしてください。その際、マイクやカメラの使用を許可してください。
- ・ 入場すると会場左上隅付近にご自身のアバターが現れます。マイクやカメラの操作は画面の下中央のメニューバーで行ってください。
- ・ 会場内の近距離にいる方々との音声会話だけでなく、Meeting で繋がればビデオ会話や画面共有を始めることもできます。
- ・ 基本的な操作などを YouTube の使い方動画および公式ガイドページの説明文でご確認ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=C8r02gYDA50&t=1s> (Youtube 動画)

<https://ovice.in/ja/magazine/2022/03/31/howtouse1/> (マニュアル)

上級編

- ・リアクション：「clap」「hand」「okay」「good」 直接タイプする
- ・画面共有：ミーティングでは画面共有でスライドやポスターを共有することも可能です。
- ・左上のツール：虫眼鏡ツールで参加者の中から特定の人探しに使えます

トラブルシューティング (マイクが使えない, 声が聞こえない, など)

<https://ja.ovice.wiki/1d573b8bc27b4c05a05a3c953b85e11b>

(English) oVice: <https://jslim86.ovice.in/> ドメイン: jslim86

We will use the tool (oVice) for social gatherings. URL will be open for whole period (24 hours) during the meeting.

*Notes on oVice

- ・ We strongly recommend that you use **Google Chrome** from your PC. Some functions cannot be used if you use other browsers or a smartphone.
- ・ You do not need to have an oVice account (member registration) to enter the social gathering venue. Enter the display name in "Enter your name" according to the example "Taro Seitai XX Univ." that you and click "Enter". At that time, please allow the use of a microphone and camera.
- ・ You can start a video or voice conversation with people at a short distance in the venue. You can control microphone and video on the menu bar at the bottom of the screen
- ・ Please check the YouTube video on the official guide page for basic operations.
https://www.youtube.com/watch?v=uWvffaCR_nk&feature=emb_logo

9月16日（金）

下綴付き講演番号：審査対象。リンクからZoomに入れない場合は、プログラム1ページ目のID、パスコードを入力ください。

開始時刻	A会場
	https://zoom.us/j/91766641264?pwd=d3hVbVBRUHU3Qm43eUt0Z0Jha1BDZz09
	一般 ポスター発表 フラッシュトーク
10:30	開会挨拶
10:35	P-01 夜間の光は魚の生態に影響を及ぼすのか？ー環境DNA技術を用いた種組成調査よりー *大敷 愛紗（神戸大）・源 利文（神戸大）
	P-02 環境DNAを用いた放流によるニホンウナギの生物量の増加の推定 *山下 尚希（愛媛大学大学院）・畑 啓生（愛媛大学大学院）
	P-03 陸水および海水中における環境DNA動態のシミュレーションとモデリング *青藤 達也（兵庫県立大学）・土居 秀幸（兵庫県立大学）
	P-04 堆積物DNAに基づくカイアシ類の長期変動に関する研究 *中根 快（愛媛大）・刈 森（滋賀県立大）・土居 秀幸（兵庫県立大）・伴 修平（滋賀県立大）・Gaël Dur（静岡大）・加 三千宣（愛媛大）・槻木 玲美（松山大）
	P-05 ハリガネムシの寄生が宿主形態に与える影響 *谷 聖太郎・河合 幸一郎（広島大院）
10:45	P-06 劇的に変化する河川流程ごとに適応する水生昆虫間の遺伝構造の比較 *竹中 將起・岡本 聖矢・上木岳・鈴木 啓久・吉田 匠・東城 幸治（信州大）
	P-07 琵琶湖における<i>Microasterias</i>および<i>Staurastrum</i>の鉛直分布とツボカビとの関係 *橋爪 達郎（横浜国立大学）・伴 修平（滋賀県立大学）・大塚 泰介（滋賀県立琵琶湖博物館）・瀬戸 健介（横浜国立大学）・三木 健（龍谷大学）・鏡味 麻衣子（横浜国立大学）
	P-08 ため池表層水における二酸化炭素濃度の日変動特性 *宮下 直也（兵庫県立大・姫路科学館）・伊藤 雅之（兵庫県立大）・坂部 綾香（京都市大）
	P-09 猪苗代湖における水質予測モデルの構築 *篠崎 真希（福島県環創セ）・林 曉嵐（福島県環創セ）・佐藤 貴之（福島県環創セ）・畑 恭子（いであ(株)）・荒居 博之（いであ(株)）・石川 泰助（いであ(株)）・竹内 一浩（いであ(株)）
	P-10 物理的障壁を考慮した河川システムにおける水質の時空間平滑化モデリング *西本 誠（東京大）・宮下直（東京大）・深澤圭太（東京大）
10:55	P-11 汽水湖の湖底堆積物における間隙液中の溶解ケイ酸の分布様相 *朴 紫瑛（島根大院）・菅原 庄吾（島根大院）・早川 隼也（島根大院）・古川 京介（島根大院）・杉山 雅人（京都大）・清家 泰（島根大 EsRec）
	P-12 漏相関法を用いたため池からのメタン放出の測定 *森口 大世（京都大）・坂部 綾香（京都大）・小杉 緑子（京都大）・伊藤 雅之（兵庫県立大）
	P-13 利根河における有機物汚濁の現状 *坂本 洸也（東京理科大院）・関 陽児（東京理科大院）
	P-14 農業水路の和無田まんぼにおける低pHとその考察 *大八木 麻希・劉 文博・佐藤 瞭磨（四日市大）
	P-15 三方湖におけるヒシ大葉茂前後の水質の変化 *保月 勇志（福井県衛生環境研究センター）
11:05	P-16 賞栄豊湖への栄養塩投入に伴う湖沼生態系の変化について（文献レビュー） 大久保 卓也（滋賀県立大学）
	P-17 陸水中メチルホスホン酸の極微量定量法開発と動態 *山本 知季（滋賀県大院・環境）・辻 一真（滋賀県大院・環境）・山中 裕貴（滋賀県大院・環境）・小畑 元（東大気海洋研）・丸尾 雅晴（滋賀県大院・環境）
	P-18 環境DNA分析結果からみえてきたアフリカツメガエル分布拡散の特徴 *日野 淳郎・横田 雅弘・藤井 俊樹・世良 篤弘・阿部 由克・飯塚 徹谷・金谷 智・牧野 健一（公益財団法人ひょうご環境創造協会）
	P-19 尾端試料に基づく底生淡水魚類8種の炭素・窒素安定同位体比の有効性の検証 *栗田 孝晴（茨城大）・中川 恵（国環研）・松崎 慎一郎（国環研）
	P-20 Response of fish community to weir gate operation in large regulated river: changes in local and regional scale community diversity and heterogeneity after weir gate opening *Hyun-joon Kim (Kyung Hee University)・Kwang-Hyeon Chang (Kyung Hee University)・Jeong-Hui Kim (EcoResearch Incorporated)・Min-ho Jang (Kongju National University)・Kyu-jin Kim (Kongju National University)・Jun-Wan Kim (Kongju National University)・Hye-Ji Oh (Kyung Hee University)

開始時刻	A会場
	https://zoom.us/j/91766641264?pwd=d3hVbVBRUHU3Qm43eUt0Z0Jha1BDZz09
	一般 ポスター発表 フラッシュトーク
11:15	P-21 日本に出現するマルミジンコ (<i>Chydorus sphaericus</i>) の分類学的再検討 牧野 渡（東北大）・鈴木 碩通（東北大）・大竹 裕里恵（東北大）・伴 修平（滋賀県大）・占部 誠太郎（東北大）
	P-22 ミジンコ個体群を形成する2系統の移入順と集団遺伝動態：湖沼堆積物を用いた湖沼間比較（予報） *大竹 裕里恵（東北大）・大槻 朝（東北大）・占部 誠太郎（東北大）・吉田 丈人（RIHN, 東大）
	P-23 Application of zooplankton index to environmental assessment: verification community index for lake assessment using multi-metric *Yerim Choi (Kyung Hee University)・Kwang-Hyeon Chang (Kyung Hee University)・Min-Ho Jang (Kongju National University)・Kyu-Jin Kim (Kongju National University)・Jun-Wan Kim (Kongju National University)・Hye-Ji Oh (Kyung Hee University)
	P-24 Cladoceran biomass based on length-weight relationships; applicability, species-specific variances, and gap between laboratory and lakes *Dae-Hee Lee (Kyung Hee University)・Hye-Ji Oh (Kyung Hee University)・Kwang-Hyeon Chang (Kyung Hee University)
	P-25 Multivariate analysis of zooplankton community and environmental factors using time series analysis; separating seasonality and trend from seasonal data *Geun-Hyeok Hong (Kyung Hee University)・Hye-Ji Oh (Kyung Hee University)・Hyun-Gi Jeong (Environmental Researcher)・Han Sa Rang (Geum-River Environmental research Cental, National institute of Environmental research)・Kwang-Hyeon Chang (Kyung Hee University)
11:25	P-26 Validation of zooplankton enumeration method for species diversity study using rarefaction and extrapolation *Hye-Ji Oh (Kyung Hee University)・Yerim Choi (Kyung Hee University)・Kwang-Hyeon Chang (Kyung Hee University)・Yong-Jae Kim (Daejin University)
	P-27 陸生藻類<i>Nostoc commune</i>の輪形成機構の解明 *富山 楓（信州大学）・伊原正喜（信州大学）
	P-28 陸生藻類<i>Nostoc commune</i>の輪形成は多糖分解菌によって阻害される *美齊津 青空（信州大学）・伊原 正喜（信州大学）
	※フラッシュトークの時間は目安ですので、前後することがあります。発表者、参加者の方々は、お気を付けください。
13:00~16:00	ポスター発表 コアタイム (LINC Biz)
	※発表者が、他の発表を少しでも聴講できるよう、下記のように、一部重複する形でコアタイムをずらして設定しています。 奇数講演番号：13:00~14:30 偶数講演番号：14:30~16:00
16:00~18:00	日本陸水学会 総会
	https://shinshu-u-ac.jp.zoom.us/j/94632274709?pwd=eVM1dE92T1dMGZyRDZ4ZEVcNnNsO9
18:30~20:00	自由集会 「オンライン大会を語ろう」代表：鍾内宏光
変更	https://zoom.us/j/98901148407?pwd=enR1TiBPhDd4SkI2YWF3RWR4b3hvOT09
変更	ミーティングID: 989 0114 8407 パスコード: rikusui

9月18日（日）午前

下線付き講演番号：審査対象。リンクからZoomに入れない場合は、プログラム1 ページ目のID、パスコードを入力ください。

開始時刻	A会場	B会場	C会場
	https://zoom.us/j/91766641264?pwd=d3hVbVB RUHU3Qm43eUt0Z0Jha1BDZz09	https://zoom.us/j/98784162102?pwd=MHUrb0Q xS2FoYWdidkpnQmNwR0NEZz09	https://us06web.zoom.us/j/84370967266?pwd= MTM2T0RqaTNNQElRWlFnQnAwMGdrdz09
	一般講演	一般講演	課題講演： 高地・寒冷地生態系の陸水学 -長期 陸水生態系研究としての第4次尾瀬総合学術調査-
9:00	<u>Q-A01</u> ナベパタムシの空間分布を決定する微生物場環境とパッチ景観 *山崎 駿（東京大学）・加賀谷 隆（東京大学）	<u>Q-B01</u> 環境DNAを用いた霞ヶ浦流入河川におけるイシガイの分布 *小室隆（港湾空港技術研究所）・後藤益滋（リクチコンサルタント）・杉野史弥（東京大学大学院）	O-C01 長期陸水生態系研究・尾瀬総合学術調査 *野原精一（国立環境研究所）
9:15	<u>Q-A02</u> 微生物場における食物連鎖長の溪流内変異 *太刀掛 脩平（東京大学）・加賀谷 隆（東京大学）・則定 真利子（東京大学）	<u>Q-B02</u> Visualization of zinc uptake and tissue distribution in Orthocladinae (Diptera) larvae using the zinc ion probe *Ashok Kumar Shrestha, Takeshi Fujino, Kousuke Nagaoka (Saitama University), Masayori Hagimori (Mukogawa Women's University)	O-C02 尾瀬地域内外における降水量の空間相関と長期変化 *岩熊敏夫(北海道大学)
9:30	<u>Q-A03</u> キタガミトビケラの生活環、微生物場、流下 *板倉拓人（東京農業大学）・加賀谷隆（東京大学）・田中幸一（東京農業大学）	<u>Q-B03</u> Toxicity of triclosan, an antibacterial agent, to a not-target freshwater zooplankton species <i>Moina macrocopa</i> *Thilomi Samarakoon (Saitama University), Takeshi Fujino (Saitama University)	O-C03 尾瀬ヶ原における池塘の拡大と拡大速度推定の試み *福原晴夫（河北潟湖沼研究所）
9:45	<u>Q-A04</u> 湿地性希少種ヒメタイコウチ(<i>Nepa hoffmanni</i>)の奈良県内生息域における飼育と行動観察 *牛尾菜花（奈良女子大学理学部）・土居秀幸（兵庫県立大学）・窪田敏（五條のヒメタイコウチを守る会）・片野泉(奈良女子大学研究院自然科学系)	<u>Q-B04</u> Improving understanding and prediction of cyanobacteria blooms in freshwater reservoirs through data-driven modelling and fluorescence sensors *BERTONE Edoardo・ROUSSO Benny	O-C04 尾瀬ヶ原湿原における動きの田代（ゆるぎのたしろ）の構造 *永坂正夫（金沢星稜大学）
10:00	<u>Q-A05</u> 伝統的河川工法・聖牛により創出された一時的水域の環境特性と生物群集 *中村 萌（奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科）・田中 亜季（大阪公立大学）・石田 裕子（摂南大学理工学部都市環境工学科）・竹門 康弘（京都大学防災研究所）・土居 秀幸（兵庫県立大学大学院情報科学研究科）・片野 泉（奈良女子大学研究院自然科学系）	<u>Q-B05</u> 餌の質によるミジンコの生活史特性とろ過スクリーン面積への影響 *米山貴将（富山県立大学）・大島功基（富山県立大学）・坂本正樹（富山県立大学）	O-C05 尾瀬ヶ原池塘における溶存有機物の太陽光分解から発生する温室効果ガス *千賀有希子（東邦大学）
10:15	<u>Q-A06</u> 再導入コウノトリにおける水田ビオトープの採餌利用の季節変化－タイムラプスカメラを活用したモニタリング－ *田和 康太（国立環境研究所）・佐川 志朗（兵庫県立大/兵庫県立コウノトリの郷公園）	<u>Q-B06</u> 谷津干潟におけるレジームシフトが水質に与える影響 *松原 優士・小林諒磨・千賀有希子（東邦大学理）	O-C06 尾瀬ヶ原の動物プランクトン相と洪水影響 *帆苅 信（新潟県立新潟翠江高校）
10:30	休憩	休憩	O-C07 尾瀬のアカシガ現象と微生物 *福井 学（北海道大学）
10:45	<u>Q-A07</u> 農業と水温上昇が水田生物群集に与える複合的な影響と捕食－被食を介した間接効果の可能性 *石若 直人（近畿大・院・農）・橋本流哉（国立環境研）・平岩将良（近畿大・農）・角谷拓（国立環境研）・早坂大亮（近畿大・農）	<u>Q-B07</u> 谷津干潟における栄養塩収支 *小林諒磨・松原優士・加藤元輝・真田祐樹・千賀有希子（東邦大・理）	休憩 ※ 臨時で発表が入ることもあります。
11:00	<u>Q-A08</u> 現在の諏訪湖における冬季のオクチバスの食性 *龍野 紘明（信州大）・笠原 里恵（信州大）	<u>Q-B08</u> 湖沼中のプラスチックによるPAHs収着の変動要因 *吉田 曉人（信州大学大学院）・宮原裕一（信州大学）	
11:15	<u>Q-A09</u> Phenotypic and genetic diversity within a freshwater diatom species, <i>Aulacoseira ambigua</i> *寿 瑠（横浜国立大学）・石井 直浩（横浜国立大学）・瀬戸 健介（横浜国立大学）・鏡味 麻衣子（横浜国立大学）	<u>Q-B09</u> 諏訪湖におけるリン動態とホスファターゼ活性に関する研究 *市川雄貴（信州大学大学院）・宮原裕一（信州大学・理学）	
11:30	<u>Q-A10</u> 積雪生態系における雪氷藻類に寄生する新規ツボカビの発見 *中西 博亮（横浜国立大）・瀬戸 健介（横浜国立大）・植竹 淳（北海道大）・小野 誠仁（千葉大）・竹内 望（千葉大）・鏡味 麻衣子（横浜国立大）	<u>Q-B10</u> 波長分散型蛍光X分析法を用いた琵琶湖北湖深層域における懸濁態物質中化学成分の動態解析 *藤原菜那（京都工芸繊維大・工芸科学）・布施泰明（京都工芸繊維大学・分子化学系）・早川和秀（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）・山口保彦（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）	
11:45	<u>Q-A11</u> 動物プランクトン画像データベースの構築と機械学習による自動鑑別精度評価 *吉田 凌太郎（東北大）・三浦 幹太（東北大）・伊藤 康一（東北大）・青木 孝文（東北大）・大曾根 葵（東北大）・大竹 裕里恵（東北大）・牧野 渡（東北大）・占部 城太郎（東北大）	<u>Q-B11</u> 発生ガスMS法及び熱分解GCMS法による湖内有機成分解析 *百合藤桃加（京都工芸繊維大）・鶴野心歌（京都工芸繊維大）・山口保彦（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）・早川和秀（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）・布施泰明（京都工芸繊維大）	
オンライン交流会（oVice）		https://islim86.ovice.in	

9月18日（日）午後

下線付き講演番号：審査対象。リンクからZoomに入れない場合は、プログラム1ページ目のID、パスコードを入力ください。

開始時刻	A会場	B会場	C会場
	https://zoom.us/j/91766641264?pwd=d3hVbVRUHU3Om43eU0Z0Jha1RDZz09	https://zoom.us/j/98784162102?pwd=MHUrb0QxS2F0eYWdlidk0pOmNmR0NEZz09	https://us06web.zoom.us/j/84370967266?pwd=MTM2T0R0aTNNOQlRWlFnOnAwMGdrcj09
	一般講演・小中高生ポスター	一般講演	課題講演：気候変動下におけるダム湖とダム下流生態系の構造と機能
12:00	小中高生ポスターフラッシュトーク コアタイム（LINC Biz）		
13:30	<u>Q-A12</u> 環境DNA分析の普及に向けたエンドポイントPCR法の高度化 *石井良典（香川大学）・Teeranai Poti（愛媛大学大学院）・秋光和也（香川大学）・鳴海貴子（香川大学）・山田佳裕（香川大学）	<u>Q-B12</u> 江の川浜原ダム下流における底生動物量の空間分布予測モデルの構築 *花岡 拓身（山口大学大学院・創成科学研究科）・宮園 誠二（山口大学大学院・創成科学研究科）・赤松 良久（山口大学大学院・創成科学研究科）・齋藤 稔（国際農林水産業研究センター）	O-C08 気候変動下におけるダム湖とダム下流生態系の構造と機能（イントロダクション） *岩田智也（山梨大）・鏡味麻衣子（横浜国立大）・土居秀幸（兵庫県立大）・占部城太郎（東北大）
13:45	<u>Q-A13</u> 堆積物環境DNAによる琵琶湖魚類の過去復元 *坂田雅之（北海道大）・槻木 玲美（松山大）・加 三千宣（愛媛大）・土居 秀幸（兵庫県大）・源 利文（神戸大）	<u>Q-B13</u> 山岳域の低・高水期の水流出における山体地下水の役割 金井 杏樹（信州大学総合理工学研究科）・榊原 厚一（信州大学理学部理学科）・鈴木 啓助（信州大学理学部理学科）	O-C09 ダム湖における動物プランクトン群集の広域パターン *鈴木 碩通（東北大学大学院・生命科学研究所）・一柳英隆（水源地環境センター）・占部城太郎（東北大学大学院・生命科学研究所）
14:00	<u>Q-A14</u> なぜ、南極大陸の湿地でヒルガタワムシは大発生できるのか？南極産ヒルガタワムシの生活史戦略に関して *和田 智竹（総研大）・工藤 栄（総研大、極地研）	<u>Q-B14</u> 医薬品類等の人為起源物質に基づく都市の浅層地下水の起源についての検討 *伊東 優希（立正大・院）・安原 正也（立正大）・李 盛源（立正大）・林 武司（秋田大）・小西 千絵（ムラタ計測器サービス株式会社）	O-C10 全国ダム湖比較からみえる生物群集プロセス：菌類と魚類を例に *鏡味麻衣子（横浜国立大）・土居秀幸（兵庫県大）・松岡俊将（京都大）・瀬戸健介（横浜国立大）・望月学（横浜国立大）・斉藤達也（兵庫県大）・一柳英隆(WEC)・大杉幸功(WEC)・占部城太郎（東北大）
14:15	<u>Q-A15</u> 琵琶湖における原生生物タイヨウチュウの季節動態および生物地理的分布 *吉田 潤哉（京都大）・中野 伸一（京都大）	<u>Q-B15</u> 河川の物質循環と生産性に影響を与えるワンドの生態系機能の解明 *上羽 涼太郎（東京農工大学）・梅澤 有（東京農工大学）	O-C11 Anaerobic microbial redox processes in an iron-rich and meromictic dam lake *TSUIJ Jackson（北海道大学）・渡邊 友浩（北海道大学）・小島 久弥（北海道大学）・岩田 智也（山梨大学）・福井 学（北海道大学）
14:30	<u>Q-A16</u> A description of a novel swimming behavior in a dioecious population of <i>Craspedacusta sowerbii</i> , the rediscovery of the elusive <i>Astrohydra japonica</i> and the first genetic analysis of freshwater jellyfish in Japan Peterson Miles（信州大学）	<u>Q-B16</u> 生息地提供と洪水リスク軽減を両立させる空間利用のあり方 *山田由美（慶應義塾大学大学院、総合地球環境学研究所）・佐川志朗（兵庫県立大学大学院）・吉田丈人（総合地球環境学研究所、東京大学）・一ノ瀬友博（慶應義塾大学、総合地球環境学研究所）	<u>Q-C12</u> ダム湖における全循環の有無と水温の植物プランクトン群集構造に対する異なる影響：現存量と多様性の変動に着目して *片寄涼介（農工大）・角谷拓（国環研）・松崎慎一郎（国環研）・高津文人（国環研）・赤坂宗光（農工大）
14:45	<u>Q-A17</u> Epibiosis in cyclopoid copepods in Lake Biwa: Taxonomic study and ecological aspect *Tuhin T. Rahman・Anny F. A.・Xin Liu・Syuei Ban（滋賀県立大）	<u>Q-B17</u> 富士五湖・仁科三湖・真磐梯三湖における微量元素濃度分布と微生物量および群集組成の関係 *平山耕太郎（東京大）・砂村倫成（東京大）・石水浩喜（東京大）・高橋嘉夫（東京大）・板井啓明（東京大）	O-C13 ダム湖におけるリン負荷と植物プランクトンの関係：湖内水質対策の効果予測に向けた解析とモデル化 *吉村 千洋（東京工業大学）・張 彼壹（東京工業大学）
15:00	休憩	休憩	O-C14 ダム湖の水温動態と曝気式循環装置の性能評価 *梅田信（日本大学）
15:15	<u>Q-A18</u> ミジンコにおける宿主系統間での共生細菌叢の伝播の検証 *市毛峻太郎（東北大院・生命）・占部城太郎（東北大院・生命）	O-B18 富士五湖・仁科三湖・真磐梯三湖における溶存ケイ素の鉛直分布と季節変化 *田柳 紗英（東大）・石水 浩喜（東大）・高橋嘉夫（東大）・板井啓明（東大）	O-C15 熱帯火山湖と亜熱帯ダム湖の溶存メタン濃度の季節変動と支配要因 *伊藤雅之（兵庫県大）・小林由紀（山口大）・Mendoza MU（Ateneo de Manila Univ.）・藤林恵（九州大）・福井学（北大）・奥田昇（神戸大）・Shiah FK（Academia Sinica）
15:30	O-A19 カイアシ類 <i>Eodiaptomus japonicus</i> の成長に与える酸性化影響の評価 *刘鑫（滋賀県大）・高梓楠（滋賀県大）・伴修平（滋賀県大）	O-B19 御嶽山南麓王滝川における河川流量の地理的分布と流量観測 *谷口智雅（三重大・人文）・宇佐見亜希子（名古屋大・減災セ）・松本嘉孝（豊田高専・環境都市）・江端一徳（豊田高専・環境都市）	O-C16 土砂還元がダム下流環境とベントス群集に及ぼす影響：支川流入との比較 *片野 泉（奈良大）・原直子（奈良大）・土居秀幸（兵庫県大）板岸淳二郎（北大）・皆川朋子（熊大）・宣場佑一（名工大）
15:45	O-A20 琵琶湖湖辺における住民参加による二枚貝等の生息環境改善活動の実践 *井上 栄壮・古田 世子・藤原 直樹・宮下 康雄・萩原 裕規・大柳 まどか・岩本 健也・木村 道徳（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）	O-B20 印旛沼における放射性セシウム濃度の経年変化 *石井 伸昌（量研機構）・風呂田 利夫（東邦大）・田上 恵子（量研機構）・村上 正志（千葉大）・大手 信人（京大）	<u>Q-C17</u> 河川自浄作用として発揮される濾過食者の生態機能 *原 直子（奈良女子大学）・坂本 菜々子（奈良女子大学）・田代 喬（名古屋大学減災連携研究セ）・土居 秀幸（兵庫県立大学）・竹門 康弘（京都大学防災研究所）・片野 泉（奈良女子大学）
16:00	O-A21 古代湖・琵琶湖のベントス多様性に及ぼす温暖化影響 *奥田 昇（神戸大・内海域センター）・岡本紘奈（神戸大・理）・伊藤雅之（兵庫県大・環境人間）・大高明史（弘前大・教育）・藤林恵（九州大院・工学研究院）・小林由紀（山口大院・医学系）	O-B21 鉄剤散布による堆積物からの硫化水素溶出抑制に関する室内実験 *井上 徹教（港空研）・萩野 裕基（（株）東京久栄）	O-C18 ダムが淡水魚類に及ぼす影響 *福島路生（国環研）
16:15			O-C19 ダム河川における生態系代謝量 *中野 大助（電中研）・鈴木 準平（電中研）・野田 晃平（電中研）
16:30			総合討論
17:00	学会賞授賞式・受賞講演		
18:00	懇親会（oVice）（口頭・ポスター・小中高生ポスター発表賞表彰式 他を含む）		https://islim86.ovice.in

9月18日（日）12:00-13:30 小中高生ポスター

下線付き講演番号：審査対象

開始時刻		A会場
		https://zoom.us/j/91766641264?pwd=d3hVbVBRUHU3Qm43eUt0Z0JhZ01BZDZz09
		小中高生ポスター発表 フラッシュトーク
12:00		P-29 メダカの「め」 道下 遥香（京都先端科学大学附属高等学校）・熊谷 道夫（びわ湖トラスト） P-30 びわ湖の全循環とピワマスの増減 高橋 朋晃（京田辺市立大住中学校）・桑原 雅之（びわ湖トラスト） P-31 2021年にびわ湖の一部の水鳥が増えたのは、なぜか？ 田原 瑠衣斗（大津市立瀬田北中学校）・熊谷 道夫（びわ湖トラスト） P-32 カワニナの食性について 岡 友葉（大津市立瀬田北中学校）・熊谷 道夫（びわ湖トラスト） P-33 アフリカにおける農業の総合施策～ジュンサイを利用したオカバンゴデルタ流域の農業モデルの検討～ 樽見 荘子（土浦日本大学高等学校）
12:10		P-34 名古屋市・隼人池における夏季の一次生産量の天候による差異と溶存酸素の長期的変動 柴田 優月（南山高校女子部）・向田 結愛（南山高校女子部）・伊藤 沙夏（南山高校女子部）・大矢 梓莉（南山高校女子部）・鍋島 理緒（南山高校女子部） P-35 びわ湖に流れ込む水で琵琶湖の水温を下げる 愛宕 真（大阪市立南大江小学校）・熊谷 道夫（びわ湖トラスト） P-36 ぺん毛モーターの仕組みを参考にしたロボットを作る 浅川 透真（洛南高等学校）・熊谷 道夫（びわ湖トラスト）
12:20-13:30		小中高生ポスター発表 コアタイム（LINC Biz）

9月19日（月・祝）午前

下線付き講演番号：審査対象。リンクからZoomに入れない場合は、プログラム1ページ目のID、パスコードを入力ください。

開始時刻		A会場	B会場	C会場
		https://zoom.us/j/91766641264?pwd=d3hVbVBtRUHU3Om43eUt0Z0Jha1BDZz09	https://zoom.us/j/98784162102?pwd=MHUrb0QxS2FoYWdldkppQmNwR0NEZz09	https://us06web.zoom.us/j/84370967266?pwd=MTM2T0RqaTNNOEIRWIFnQnAwMGdrdz09
		一般講演	一般講演	課題講演：湖沼深水層生態学（Hypolimnion ecology）の幕開け
9:00	O-A22	濁水が付着藻類におよぼす影響とその回復過程に関する研究 安部行博（中部電力パワーグリッド株式会社）・ *萱場祐一（名古屋工業大学）	O-B22 2021年に実施された東日本14湖沼の地球化学的比較調査の結果概要 *板井 啓明（東大）・石水 浩喜（東大）・砂村 倫成（東大）	O-C20 趣旨説明 *中野伸一（京都大）
9:15	O-A23	河川における溶存メタン濃度の流れ変動 *土屋 健司，高津 文人，三浦 真吾，松崎 慎一郎，渡辺 未来（国立環境研究所）	O-B23 湖底深部へのマンガン濃集層形成機構に関する比較湖沼学的アプローチ *佐藤 佑磨（東京大）・石水 浩喜（東京大）・高橋 嘉夫（東京大）・板井 啓明（東京大）	O-C21 膜ろ過法による湖沼における溶存有機物の分画の新たな展開 *早川和秀（琵琶研）・山口保彦（琵琶研）・中野伸一（京大生態研）・霜島孝一（国環研）・今井章雄（国環研）・武井直子（東レテクノ）・Renhui Li (Wenzhou大) ・Fuhong Sun （Chinese Research Academy of Environmental Sciences）・Fengchang Wu (Chinese Research Academy of Environmental Sciences)
9:30	O-A24	琵琶湖底層におけるメタン栄養食物網の空間パターン *藤林恵（九州大院・工学研究院）・岡本紘奈（神戸大・理）・伊藤雅之（兵庫県大・環境人間）・大高明史（弘前大・教育）・小林由紀（山口大院・医学系）・奥田 昇（神戸大・内海域センター）	O-B24 全日射量増加は植物プランクトンの光合成速度増加にも寄与しているのか？ *篠原隆一郎（国立環境研究所）・松崎慎一郎（国立環境研究所）・中川恵（国立環境研究所）・土屋健司（国立環境研究所）・高津文人（国立環境研究所）	O-C22 湖深水層における高分子溶存有機物の隠れた循環の可能性 *山口 保彦（琵琶研）・岡崎 友輔（京大）・霜島 孝一（国環研）・今井 章雄（国環研）・早川 和秀（琵琶研）
9:45	O-A25	亜熱帯地方のダム湖におけるメタン酸化細菌の長期観測 *小林 由紀（山口大）・伊藤 雅之（兵庫県立大）・藤林 恵（九州大）・小島 久弥（北海道大）・福井 学（北海道大）・奥田 昇（神戸大）・Shiah FK (Academia Sinica)	O-B25 琵琶湖周辺内湖における可分解性溶存有機態リン動態と現場分解活性 *池谷透（京都大）・易容（Gannan Normal Univ）・伴修平（滋賀県大）・丸尾雅啓（滋賀県大）・石田卓也（広島大）・奥田昇（神戸大）	O-C23 性質の異なる有機炭素に対する微生物群集による分解応答ダイナミクス：バイオログ培養実験と微生物群集モデル *三木 健・徳島 生大（龍谷大）
10:00	O-A26	気候変動下でトビケラ類の水系内標高分布は変化している *加賀谷 隆・高村 耕介（東京大）・板倉 拓人（東京農大）	O-B26 琵琶湖における内部栄養塩負荷測定: 任意の溶存酸素濃度による湖底堆積物カラム培養法の検討 *堀坂兼一(滋賀県立大学)、横山黎(滋賀県立大学)、石橋孝晃(京都大学)、後藤直成(滋賀県立大学)	O-C24 湖沼深水層の細菌の生態学 *岡崎友輔(京都大)
10:15	O-A27	冬季湛水の二面性：生物多様性保全と外来種侵入の影響 *吉岡 裕生（神戸大学）・浅野 悟史（京都大学）・奥田 昇（神戸大学）	O-B27 琵琶湖北湖におけるリン酸イオンと溶存反応性リン（SRP）濃度の季節変化とその要因 *藤山信太郎（滋賀県大院）・辻一真（滋賀県大院）・山中裕貴（滋賀県大院）・小畑元（東大大気海洋研）・*丸尾雅啓（滋賀県大）	O-C25 湖深水層の細菌・ウイルス群集構造における鉛直混合の影響 *沈尚（国環研）・富永賢人（東京大）・土屋健司（国環研）・松田知成（京都大）・吉田天士（京都大）・清水芳久（京都大）
10:30		休憩	休憩	総論討論
10:45	O-A28	環境DNA分析による入間川支流のホトケドジョウの生息地調査 *石黒 直哉・加藤優斗・中澤秀道（城西大）	O-B28 富栄養湖沼手賀沼の一酸化二窒素 *時枝 隆之（気象大学校）・木持 謙（埼玉県環境科学国際センター）・清水 歩（気象大学校・現新千歳航空地方気象台）・牧野 隆平（気象大学校）・関根 希一（気象大学校）	休憩 ※ 臨時で発表が入ることもあります。
11:00	O-A29	環境DNAを用いた希少種個体群の健全性評価の可能性 脇村 圭・*内井 喜美子（大阪大谷大）	O-B29 2000年有珠山噴火後の洞爺湖・壮瞥温泉の源泉群における遊離二酸化炭素濃度と泉温およびpHの複合関係の変化 *高野 敬志（北海道立衛生研究所）・青柳 直樹（北海道立衛生研究所）・市橋 大山（北海道立衛生研究所）・内野 栄治（北海道立衛生研究所）	
11:15	O-A30	堆積物記録から復元された琵琶湖の動・植物プランクトン動態：水位管理・気象と栄養塩変化の影響 *槻木玲美（松山大）・Eric Caporin（Swedish University of Agricultural Sciences）・越智梨月（愛媛大）・鏡味麻衣子（横浜国立大）・土居 秀幸（兵庫県立大）・早川 和秀（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）・加 三千宣（愛媛大）	O-B30 自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価（J-ADRES）の紹介と展望 *吉田 丈人（地球研・東京大）	
		オンライン交流会（oVice）		https://jslim86.ovice.in

9月19日（月・祝）午後

開始時刻

D（ウェビナー）会場

<https://zoom.us/j/92080019712?pwd=bUJ5YVE1RGh0ZnpkeVBxVFdtTVI5Zz09>

パスコード：watershed

ID: 92080019712 Pass: watershed

公開講演会 全国における流域治水に関わる
水辺再生の取り組みと展望

- | | | |
|-------|-----|--|
| 13:30 | S-1 | 趣旨説明、流域治水について
*萱場祐一（名古屋工業大） |
| 13:35 | S-2 | 北海道における治水メニューと環境保全の関わり
*根岸淳二郎（北大） |
| 13:50 | S-3 | 流域の水収支と熱収支を考慮して、生物の生息環境を評価する
*長谷川雅美（東邦大学） |
| 14:05 | S-4 | 生態系を活用した気候変動適応：印旛沼流域における“里山グリーンインフラ”の取り組み
*西廣淳(国環研) |
| 14:20 | S-5 | 自然との共生に向けた流域治水の課題－滋賀県の事例から－
*瀧健太郎（滋賀県立大） |
| 14:35 | | 休憩 |
| 14:45 | S-6 | 兵庫県円山川流域におけるコウノトリのための水辺再生効果と遊水地計画への応用
*佐川志朗（兵庫県立大） |
| 15:00 | S-7 | 吉野川氾濫原における治水と環境一体の取り組み：コウノトリが繋ぐ人の輪の可能性
*河口洋一（徳島大） |
| 15:15 | S-8 | 生物多様性の保全×流出抑制：球磨川流域における緑の流域治水の取り組み
*皆川朋子（熊本大） |
| 15:30 | | パネルディスカッション
コンビナー 萱場祐一（名古屋工業大） |
| 16:15 | | 挨拶
占部城太郎（両）学会長） |

日本陸水学会第 86 回兵庫大会 公開講演会（日本陸水学会・応用生態工学会 共催）

全国における流域治水に関わる水辺再生の取り組みと展望

企画者：萱場祐一（名古屋工業大）・佐川志朗（兵庫県立大）

主旨

近年、甚大な水災害が頻発している。このような中、あらゆる関係者が協働して流域治水への転換を推進することが令和 2 年 7 月に示された。流域治水では①氾濫をできるだけ防ぐための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減・早期復旧・復興のための対策、に分けることができ、これらの対策を総合的、多層的に取り組むことが重要とされている。この中で、①氾濫をできるだけ防ぐための対策としては「ためる」「流す」「氾濫水を減らす」があるが、この中の「ためる」は流域の湿地化に繋がる可能性がある。また、「流す」についても「ゆっくり水を流す」思想を根幹とした多自然川づくりの推進に繋がる可能性がある。本シンポジウムでは日本全国の流域、河川の水辺再生に焦点を当て、これらを流域治水との係りの中で捉えることにより、自然との共生という視点、すなわち、治水と環境の両立という観点から国土管理を考える。

日時：2022 年 9 月 19 日(月・祝) 13:30-16:30

演題

- 13:30- 趣旨説明、流域治水について（萱場祐一：名古屋工業大）
- 13:35- 北海道における治水メニューと環境保全の関わり （根岸淳二郎：北大）
- 13:50- 流域の水収支と熱収支を考慮して、生物の生息環境を評価する
（長谷川雅美：東邦大学）
- 14:05- 生態系を活用した気候変動適応：印旛沼流域における“里山グリーンインフラ”
の取り組み （西廣淳：国環研）
- 14:20- 自然との共生に向けた流域治水の課題 － 滋賀県の事例から －
（瀧健太郎：滋賀県立大）
- 14:35- 休憩
- 14:45- 兵庫県円山川流域におけるコウノトリのための水辺再生効果と遊水地計画への応用
（佐川志朗：兵庫県立大）
- 15:00- 吉野川氾濫原における治水と環境一体の取り組み：
コウノトリが繋ぐ人の輪の可能性 （河口洋一：徳島大）
- 15:15- 生物多様性の保全×流出抑制：球磨川流域における緑の流域治水の取り組み
（皆川朋子：熊本大）
- 15:30- パネルディスカッション（コンビナー 萱場祐一：名古屋工業大）
- 16:15- 挨拶（占部城太郎（両）学会長）